

## 第2期宝塚市子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直し

子ども・子育て支援事業計画については、国が示す基本指針において、量の見込みと実績値が大きく乖離している場合は計画の見直しが必要となり、中間年を目安として、必要に応じて、計画の見直しを行うこととなっています。中間年の見直しにあたり、国から示された考え方の主なポイントは以下のとおりです。

＜国から示された考え方の主なポイント＞

・新型コロナウイルス感染症等の影響により、平常時の実績（今後の利用ニーズを含む）の想定が困難であって、令和4年度に中間年見直しが必要かどうかの判断ができない場合、必ずしも当該年度に見直しを行う必要はなく、令和5年度以降に必要なに応じて実施。

・教育・保育は、令和3年4月1日時点における実績値について、認定区分ごとに、「量の見込み」と比較し、±10%以上の乖離がある場合は、原則として見直しが必要と判断し、要因分析及びそれに基づく見直し作業を行うこと。

・地域子ども・子育て支援事業については、教育・保育の「量の見込み」の見直し及び提供体制の確保の内容の変更に併せて、必要に応じ、地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」の見直し及び提供体制の確保の内容の変更を行うこと。

### 1 教育・保育

＜見直しにあたっての考え方＞

実績との乖離率がすべて（以下表の（A）～（E））±10%以内に収まっていることから見直しを行わない。

令和3年度

区 分	1号認定	2号認定			3号認定		
		学校教育の 利用希望	その他	計	0歳児	1・2歳児	計
量の見込み (R3年度計画値)	2,768人	395人	2,288人	2,683人	278人	1,750人	2,028人
実績値 (R3.4.1現在)	2,654人		2,570人	2,570人	297人	1,749人	2,046人
乖離率	(A)			(B)	(C)	(D)	(E)
	△ 4.1%			△ 4.2%	+ 6.8%	△ 0.1%	+ 0.9%

※乖離率について、（A）～（E）のいずれか一つでも±10%以上となった場合は、原則として見直し

## 2 地域子ども・子育て支援事業

	見直しを行う事業に○	見直しにあたっての考え方
利用者支援事業		見直しを行わない。計画どおり【特定型】、【母子保健型】を実施しているため。 【参考：R3年度】 量の見込み【特定型】1カ所 【母子保健型】1カ所 / 実績 【特定型】1カ所 【母子保健型】1カ所
時間外保育事業		見直しを行わない。新型コロナウイルス感染症等の影響により、平常時の実績（今後の利用ニーズを含む）の想定が困難であるため。 【参考：R3年度】 量の見込み 650人 / 実績 588人
放課後児童健全育成事業		量の見込みについて、統計学的な知見を入れて分析作業を進めており、現時点では見直しを行わない。 【参考：R4年度】 量の見込み 2,416人 / 実績 2,423人
子育て短期支援事業		見直しを行わない。新型コロナウイルス感染症等の影響により、平常時の実績（今後の利用ニーズを含む）の想定が困難であるため。 【参考：R3年度】 量の見込み 208人日 / 実績 17人日
乳児家庭全戸訪問事業		見直しを行わない。新型コロナウイルス感染症等の影響により、平常時の実績の想定が困難であるため。 【参考：R3年度】 量の見込み 1,622人 / 実績 1,339人
養育支援訪問事業		見直しを行わない。新型コロナウイルス感染症等の影響により、平常時の実績（今後の利用ニーズを含む）の想定が困難であるため。 【参考：R3年度】 量の見込み 1410人 / 実績 1,556人
地域子育て支援拠点事業		見直しを行わない。新型コロナウイルス感染症等の影響により、平常時の実績（今後の利用ニーズを含む）の想定が困難であるため。 【参考：R3年度】 量の見込み（市全域） 48,058人日 / 実績（市全域） 29,298人日
一時預かり事業（幼稚園型）	○	量の見込みと実績に乖離があることから見直しを行う。 【参考：R3年度】 量の見込み 10,990人日 / 実績 15,784人日
一時預かり事業（幼稚園型除く）		見直しを行わない。保育士不足によって事業を休止している園（3園）の再開時期が読めないことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、平常時の実績（今後の利用ニーズを含む）の想定が困難であるため。 【参考：R3年度】 量の見込み 28,868人日 / 実績 18,177人日
病児保育事業		見直しを行わない。新型コロナウイルス感染症等の影響により、平常時の実績（今後の利用ニーズを含む）の想定が困難であるため。 【参考：R3年度】 量の見込み 1,814人日 / 実績 836人日
子育て援助活動支援事業（就学児）		見直しを行わない。新型コロナウイルス感染症等の影響により、平常時の実績（今後の利用ニーズを含む）の想定が困難であるため。 【参考：R3年度】 量の見込み 1,682人日 / 実績 803人日
妊婦に対して健康診査を実施する事業		見直しを行わない。新型コロナウイルス感染症等の影響により、平常時の実績の想定が困難であるため。 【参考：R3年度】 量の見込み 2,503人(19,317回) / 実績 2,221人(17,076回)
実費徴収に係る補足給付を行う事業		見直しを行わない。新型コロナウイルス感染症等の影響により、平常時の実績（今後の利用ニーズを含む）の想定が困難であるため。 【参考：R3年度】 量の見込み 200人 / 実績 108人
多様な主体が参入することを促進するための事業		見直しを行わない。計画通り、新設園の整備の予定はなく、支援の必要がないため。 【参考】 量の見込み R3年度 1カ所 R4年度 1カ所 R5年度 0カ所 R6年度 0カ所 実績と予定 R3年度 0カ所 R4年度 1カ所 R5年度 0カ所 R6年度 0カ所

(8) 一時預かり事業

① 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）

〔量の見込みと確保方策〕 ※赤字が見直し箇所（本編90ページ）

単位：人日（年間延べ日数）

	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
量の見込み	10,990	10,990	10,990	15,558	15,558
確保方策	10,990	10,990	10,990	15,558	15,558